

モンキーキャンパス受講生有志による 屋久島研修ツアー

○都丸亜希子¹⁾、石樽玲子¹⁾、中野洋二郎¹⁾、堀部紀夫¹⁾、万野美香¹⁾、森本裕里¹⁾、上村直子¹⁾、
堀川晴喜²⁾ 赤見理恵¹⁾ ²⁾

1) 日本モンキーセンター友の会 2) 公益財団法人日本モンキーセンター



はじめに

モンキーキャンパスは日本モンキーセンターが主催する連続講座で、例年約100名が受講している。講義を聞くだけでなく実際にフィールドに行ってみようという受講生の声を反映し、今まで幸島や金華山、ボルネオなどへの研修ツアーが実施された。2年間コロナ禍で実施されなかったが、2022年度にひきつづき2023年度も湯本貴和氏の指導のもと、受講生有志7名とスタッフ2名が屋久島を訪問したので報告する。

日程：2023年12月9日(土)～12月12日(火)(4日間)
訪問地：鹿児島県熊毛郡屋久島町 滞在拠点：日本モンキーセンター屋久島研修所
参加者：受講生有志7名 スタッフ：赤見、堀川 指導：湯本貴和先生



ツアー前

モンキーキャンパスの講義終了後に集まり、説明会や観察会をおこなった。

- 6月：概要説明
- 7月：募集開始・参加者決定
- 8月：説明会（去年の写真で）
- 9月：説明会（オンラインで湯本先生を交え）
- 10月：ヤクシマザル観察会@モンキーバレイ
- 11月：説明会（直前の案内等）



9月の説明会では、オンラインで湯本先生にも参加していただき、細かな質問にも答えていただいた。



10月のヤクシマザル観察会では、オスとメス、オトナとコドモの見分け方などを学んだ。

ツアー中

12月9日(月) AM 中部国際空港⇒鹿児島空港⇒屋久島空港
屋久島観光センターで昼食、食材買い出し
PM レンタカー2台に分乗し研修所へ
西部林道でヤクシマザルやヤクシカを観察
夕食 自炊
夕食後 湯本先生によるレクチャーと交流会

1日目
とにかくサルを見る



7時に中部国際空港に集合。鹿児島空港でプロペラ機に乗り換え、指宿のシンボルである美しい開聞岳などを眺めながら、屋久島空港に到着した(①②③)。まずは、屋久島観光センターで、屋久島産の食材による御膳を屋久杉の器でいただいた(④)。



午後、研修所に到着後、早速、西部林道へ観察向かった(⑤)。道路上で人馴れた群れに遭遇でき、コンソート中のカップル、のんびりと毛づくろい、遊びぶ子ザル、クスノキ(⑥)やシマサルナシ(⑦)などの採食も観察できた。



夜は湯本先生のレクチャー♪屋久島の植生から観光事情の変遷まで……これで、明日から屋久島通!

12月10日(火) AM 西部林道から群れ探しにカンカケ岳方面へ
朝食中のサルの群れを観察
山を降りてお弁当
PM 湯本先生による植物観察会
サルの群れを追って、再び山へ
夕食 自炊
夕食後 交流会

2日目
サル研究者になりきる



朝焼けが残る時間から出発(①)。西部林道では、朝から活発に採食や行動するなサルの群れに出くわした(②)。昨日とは異なる群れであった。群れを追って、カンカケ岳方面へ四つん這いになって追跡し(③)、サルの群れの中心部にたどり着いた(④)。観察中に、黙々と採食するサルや悠然横切るアルファオス、群れに近づくとシカなども観察できた。



林道まで降りて、半山四号橋付近で、お弁当(⑤)。午後は、湯本先生による植物観察会(⑥)。サルの糞の中身も観察した(⑦)。



再度、サルの群れを追って山中へ(⑧)。のんびりと毛づくろい、木の上での採食など……静かで、ゆったり、のんびりと過ごす様子を、日暮前まで観察した。

12月11日(月) AM 雨天だったため白谷雲水峡へ
白谷雲水峡で植物観察
道中、倒木で雨宿りする群れを観察
お弁当は休息所で
PM 屋久杉自然館へ、ヤクスギの歴史を学ぶ
丸高水産で買い出し
夕食 最後の晩餐

3日目
垂直分布を実感する



白谷雲水峡へ(①)。前日の復習もかねた植物の観察(②)、屋久島特有の正長石を含む花崗岩を確認した(③)。途中、サルの群れと遭遇し(④)、倒木の下で雨宿りをしているところ(⑤)を観察できた。二代大杉まで移動し記念撮影(⑥)。お弁当は駐車場近くの休息所で(⑦⑧)。



午後は、屋久杉自然館へ。保存展示されている縄文杉のいのちの枝に圧倒され(⑦)、チェーンソー体験(⑧)、屋久杉の歴史(⑨)や屋久島の成り立ち(⑩)などを見学した。



最終日の晩餐(⑩)。魚屋で調達した屋久島名物の、首折れサバや鱈節など。湯本料理長による刺身、あら煮などを堪能♪

12月12日(火) AM 最後の朝食
西部林道周辺へ見納め
お弁当は海をみながら
PM 研修所の片付け・清掃
屋久島町歴史民俗資料館へ 鹿肉を食べ
屋久島空港⇒鹿児島空港⇒中部国際空港

4日目



最後の朝食(①)を食べ、西部林道で、サルの群れを見つけ(②③)、群れを追った(④⑤)、最後観察。



お弁当は、研修所の裏で海を見ながら、ピクニック気分♪ミサゴの飛行も見えました!



清掃(⑧)を終え、屋久島町歴史民俗資料館へ(⑨)。猿牢をみて(⑩)、市井の歴史を学んだ(⑪)。



あっという間に4日間がすぎ、帰名。また、みんなで行きたいね！(写真は湯本先生のものから)

参加者の感想より

山中を追い、シカがついてくることも知り、まるでドキュメンタリーTVのようで驚きと感動だった

思った以上に樹上での動きが活発だった

サルたちの距離感や自分でエサ探しているところがモンキーバレイと違った

屋久島の食・文化を知ることができた

参加者同士の交流もよかった

ツアー後

- 【参加者】改めてモンキーバレイで観察し比較をした方も
- 【スタッフ】Webサイトのニュースやブログで報告を掲載
- 【スタッフ】モンキーバレイでのガイドや飼育環境改善に学んだことを活用
- 【みんな】本プリマーテス研究会の発表準備



Webサイトのニュースでの報告



モンキーバレイでのガイドの様子

おわりに

参加者それぞれにさまざまな体験や感動があった。これを個人のもので終わらせず多くの方と共有し次につなげていきたいと考え、本発表を計画した。今後も日本モンキーセンターが「自然への窓」となり、フィールドと動物園をつないでいくことに期待したい。